

# 深谷 地区

県指定

- ◆指定年月日：昭和 41 年 3 月 8 日 ◆会場：大寄公民館
- ◆保存団体：内ヶ島万作踊り保存会
- ◆開催時期：11 月頃（大寄地区芸能祭）

内ヶ島の万作

江戸時代中期から終わり頃にお伊勢参りに行って覚えてきたものを、春秋の祭礼に踊ったのが始まりと伝えられる。手踊り、段物が伝承され、段物の演目には「お半長右衛門」「鬼人お松」「白浪五人男」などがあり、踊りで幕を開けた後、歌や踊りを含む寸劇が続き、再び踊りで終わるといった構成が基本となる。

明治から大正にかけて全盛期を迎え、昭和に入り娯楽の多様化とともに衰退したが、現在は「内ヶ島万作踊り保存会」が組織され、保存伝承されている。県北の伊勢音頭を基盤とする代表的万作である。



市指定

無民1号

境石投踊り並び笛

- ◆指定年月日：昭和 33 年 11 月 3 日 ◆会場：境第一ふれあいセンター
- ◆保存団体：石投踊保存会
- ◆開催時期：8 月 14 日

鎌倉時代の武将畠山重忠公が合戦の折、矢が尽き石を投げて戦ったという伝説を踊りとして伝えたものという。振付けの中に歌舞伎の「石投げの見得」を取り入れたとされる石を拾って投げる仕草があるのが特徴。始まりは定かではないが、大正・昭和と各地で踊られており、特に境地区は大きな櫓を立てて行う。手作りの笛は大きな音が出て特徴的なものである。現在は8月の納涼祭などで披露されている。



市指定

無民2号

堀米獅子舞

- ◆指定年月日：昭和 34 年 11 月 3 日 ◆会場：八坂神社（堀米）・富士神社（江原）など
- ◆保存団体：堀米獅子舞保存会
- ◆開催時期：10 月第二土曜日・日曜日

天明3年（1783）の浅間山噴火による農作物への被害と、その前年から続いた飢饉及び疫病の流行（天明の大飢饉）という苦境を切り抜けるため、村人たちが相談して、伊勢国渡会郡山田より獅子舞の伝授を受け鎮守に奉納したことに始まると伝わる。富士神社（江原）の秋季大祭に奉納される。獅子は男獅子・女獅子・法眼の3頭からなる。

